

空母艦載機本格移駐 反対!  
岩国を朝鮮半島への出撃拠点にするな!  
米軍をアジアから総撤収させよう!

## 東アジアの平和を創る

# 「2017 岩国行動」に集まろう!

闘いは  
これから!  
戦争のための  
基地は  
いらない!



### 日程

◇11月25日(土) 岩国市福祉会館(3階小ホール)

14:00~17:00 岩国国際連帯集会

岩国から、西広島から

韓国サード配備反対闘争から

各地の基地反対運動をはじめ、各種連帯発言

歌と楽器演奏

17:30~19:30 岩国・労働者反戦交流集会

夜:反基地交流会、被ばくを考える分科会、労働者懇親会等

◇11月26日(日) 9:00~11:00 基地フィールドワーク

11:00 から「連名方式でのミニ集会とデモ」に参加!

11:00~12:00 岩国支庁前広場でミニ集会

12:00~13:00 岩国基地に向かうデモ

♥岩国・山口・全国からの連名でミニ集会とデモを成功へ!♥

アジア共同行動(AWC)日本連絡会議  
岩国・労働者反戦交流集会実行委員会

## ●艦載機移駐本格化、アタゴヒルズ、戦闘機 130 機・米軍 1 万人の街へ

岩国基地では 8 月から厚木からの艦載機移転が始まりました。主力機種 FA18 スーパーホーネット等は 11 月から移駐開始、来年 5 月までに全 61 機の配備が完了。同時に、基地内 760 戸の住宅新設と、愛宕山 262 戸の将校用米軍住宅(アタゴヒルズ)が完成し、愛宕山開発跡地は「米軍基地」になりました。一戸 7~8 千万円という住宅には「地下施設」が完備、「核シェルター」だと市民の怒りを買っています。今年から来年にかけて岩国基地は戦闘機 130 機で嘉手納基地をしのぐ東アジア最大の航空

基地となり、岩国は米軍 1 万人の街となります。

「滑走路沖合移設」で拡張された岩国基地には 6 千億円以上の思いやり予算を投入。この間国は岩国市民の不安を抑え込むため、岩国市に防衛予算をばらまいて「基地との共存」を演出し、山口県への基地交付金を倍以上に増額し、今後 10 年にわたり毎年 50 億円投入。こうして岩国市と山口県の「移転容認」が作られました。これらの血税は本来、福祉や教育に使うべきで、ゼネコンに儲けさせ、市民の口をふさぐのに使うべきではありません。

## ●広域化・無制限化する戦闘機騒音、相次ぐ事故、そして米軍犯罪

沖縄だけでなく、岩国でも米軍の戦闘機騒音や事故は増える一方です。7 月には訓練空域ではない岩国市街上空を飛ぶ F35B 戦闘機の爆音が深夜まで続き、一晩で 155 件もの苦情が殺到しました。これらの訓練は市街地を撮影して攻撃目標を定める、市民を敵とみなした訓練です。

移駐された KC130 空中給油機は今も沖縄での訓練を続けており、「沖縄の負担軽減」は大ウソです。7 月には同型機が米国で 16 人死亡の墜落事故を起こしました。昨年 12 月の岩国基地所属 FA18 ホー

ネット高知沖墜落死亡事故の原因は不明。

F35B は、米国でクラス A の事故を起こしていたことが後に判明。事故続きの危険なオスプレイの運用拠点は岩国基地なのです。

アタゴヒルズから出勤する米軍による交通事故問題では、米軍属の無謀運転による住民の死が痛切に想起されます。2007 年広島事件のような岩国米兵による女性への性暴力など米軍犯罪の増加・広域化も危惧されています。



## ●トランプと安倍による朝鮮半島への戦争重圧と岩国基地の大強化

今年 1 月から岩国に配備(米国外で初)された最新鋭 F35B ステルス戦闘機は、朝鮮半島北部まで 20 分で飛来できます。3 月の韓米合同軍事演習で岩国の F35B が朝鮮半島に初飛来し精密爆撃訓練を行い、8 月には朝鮮民主主義人民共和国に戦争重圧をかけるために、グアムの B1B 戦略爆撃機と岩国基地の F35B が空自 F15 とともに日米共同訓練、その後 B1B と F35B は韓米合同演習に参加し

爆弾投下訓練。大規模軍事演習は実戦と紙一重です。これを中止せずして平和交渉は不可能です。

さらに岩国基地の大強化は、他の米軍・自衛隊基地の強化を呼び起こします。岩国に初配備された F35B は佐世保に新たに投入される強襲揚陸艦への搭載がもくろまれています。岩国基地の強化は、佐世保など他の米軍基地の強化や、空中給油のための自衛隊基地の強化を生み出しています。

## ●8 年目に入った「愛宕山見守りの集い」、「異議あり! 基地との共存」の闘いの発展を

岩国市民は粘り強く闘い続けています。「愛宕山見守りの集い」は毎月 3 回雨の日も風の日も続けられ、岩国市内以外にも爆音の被害を受ける周防大島、広島西部からも参加する大切な運動の拠点です。防衛予算をバラま

かれ、岩国市長は「基地との共存」を掲げていますが、岩国市民たちは「異議あり!

「基地との共存」市民行動実行委員会”を立ち上げて、運動を広げています。2006 年住民投票が示した基地強化に反対する 87%もの圧倒的な市民の意思は、今も生きています。闘いはこれから! 岩国から東アジアの平和を創る「2017 岩国行動」に今年も全国から集まろう!

また岩国・山口・全国をつないで「平和に基地はいらない」「戦争の動きを止める行動を岩国から」と呼びかけられている 11 月 26 日 11 時「連名方式でのミニ集会とデモ」を成功させていこう!

